

■観光尼 曹洞宗尼僧。信望厚く、弟子多数で、京都比丘尼御所の復興を請われ、道元600回忌には尼僧トップに。

かんこうに

蝦夷初調査・1785＝ 丹波国桑田郡弓削村(京都府)の弓術師草木家に生れる。号は寂示。

田沼意次失脚1786＝ 1歳：

フランス来日・1792＝ 7歳：黒田の曹洞宗地藏院独照により、出家得度、

松平定信引退1793＝ 8歳：

オランダ 正月・1794＝ 9歳：

アメリカ船来航始1803＝18歳：

のち、尾張国知多郡大野の微笑堂に住した。相貌男子のごとく、毅然として見識に富んでいたという。

また、尼僧の入山修行を許さない永平寺に男装して関門を突破、掛錫を許され、3年余参禅したが、看破され、下山したという。

高田屋拿捕・1812＝27歳：

水野忠成老中1818＝33歳：この頃から、\*微笑堂改築を始め、尊者を本尊として安置。やがて、こうした尼の徳を慕って集まる人が多く、尾張観光と呼ばれるようになる。

蝦夷地直轄終1821＝36歳：

微笑堂改築が終わると、亡き乳母に対する慕情から、

日本外史・・・1827＝42歳：承久の乱後の寡婦収容をめざし建立された善久尼寺のために明恵上人が撰述したといわれ、女人出家信仰を目的として阿難尊者の女人救済の主意が述べられている「阿難講式」1冊を梶尾山高山寺から借り書写、万松寺黄泉に講式中の祭文の撰述を請い、正本に付加して、

シボク 朴追放・1829＝44歳：\*版刻完了し、尼衆に施す。また、阿難尊者の肖像画を設け、黄泉に賛を請い供養、自らも阿難尊者の大意に帰命する一文を記した。

富籤流行・・・1830＝45歳：

大塩平八郎乱1837＝52歳：

蚕社の獄・・・1839＝54歳：

阿部正弘首座1845＝60歳：この頃、\*京都比丘尼御所の一つ、養林院の修復を願う尼僧界の衆望を担って、行うことになり、微笑堂を離れ、六条家の猶子となって養林院へ入山、10代法嗣となり復興に専念、繁栄に導く。

・・・・・・1848＝63歳：

万次郎帰国・1852＝67歳：永平寺から高祖道元600回・二祖孤雲500回大遠忌に際し、尼僧且過単頭(宿泊世話方)に任命される。

ペリー来航・1853＝68歳：

蕃書調所・・・1857＝72歳：

桜田門外変・1860＝75歳：

多数の弟子を養成して、

薩長同盟・・・1866＝81歳：

明治維新・・・1868＝83歳：没した。